



令和7年度
放課後子ども教室
アソビバ! つべつ

活動報告書

概要

目的

津別町にある豊富なフィールドで、小学1年生から中学3年生までを対象に学校外の放課後や週末の時間を活用し、津別町の子どもたちの居場所・体験学習・異年齢交流づくりの場を提供する。さらに、それらを通して郷土愛の育成を図り、子どもたちの自主性および協調性の向上を目的とする。

登録者

61名 (小学生：59名、中学生：2名)

活動数

15回 (中止：ツリーイング、登山)

延参加者数

391名

スタッフ延数

187名

活動報告

「春の体力測定会」 5月17日（土） 農業者トレーニングセンター 13：15～14：30 参加者：23名 運営協力：13名

今年も「春の体力測定会」を実施しました。過去の結果よりも成績が上がった参加者は、嬉しそうに記録シートを確認する様子が見られました。最後に参加者全員でシャトルランを行い、走り終わった子どもがまだ走っている子に声を掛け合う場面がありました。全測定終了後は、後日結果を送付する旨を伝え1回目の体力測定会を終了しました。



「種うえ体験」 6月14日（土） 達美の農場 8：45～10：30 参加者：26名 JAつべつ青年部・事務局：12名

JAつべつ青年部との共催で、食農教育の一環としてさつまいも・とうもろこし（ポップコーン）の2種類の種うえを行いました。作業中は、青年部の方と楽しそうに会話を弾ませながら作業をしました。前日の雨の影響で地面がぬかるむ場面もありました。足を取られる場面もありましたが、怪我無く終了しました。

さつまいもの茎は、実と同じように紫色をしているということが、子どもたちにとっても予想外であったようで、驚きの様子が見られました。無事に予定していた種と苗をすべて植え終えたところでこの日の種うえ体験を終了しました。



活動報告

「草とり&生育観察」 7月14日（土） 達美の農場 15：30～16：30 参加者：9名 JAつべつ青年部・事務局6名

前回植えたさつまいもととうもろこし（ポップコーン）の周りに生えている雑草取りを行い、最後に生育観察を行いました。さつまいもの葉っぱと雑草が似ていたので間違えないように気をつけながら作業を行いました。6月の「種うえ」よりも大きくなっている作物に子どもたちも成長を確認することができました。1時間という短い時間でしたが、作物の周りの雑草をある程度取ったところで終了しました。



「少年少女水泳教室」 7月29日（火）～31日（木） 温水プールすいむ 10：30～11：30 参加者：延べ31名 スポーツ推進委員：延べ10名

小学1年生～3年生を対象に水泳教室を行いました。1日目の前半は、練習を始める前に全体でプールの外周を回ったり、水中じゃんけんをするなどして体を慣らしました。1日目の後半は、グループに分かれて参加者に合わせた難易度で練習を行いました。2日目以降もグループ内での練習を行いました。3日間の教室を通して、蹴伸びしかできなかった子どもも、ビート板を使って15mプールを泳ぎきることができるようになったなど大きな成長を見ることができました。

子どもたち自身も、少しずつできることが増えるたびに喜びや達成感を感じることができ、参加者の意欲向上につなげることができました。



オリンピック事業「水泳教室」 7月18日（金）

温水プールすいむ 18：00～19：30 参加者：29名

講師：佐藤 久佳氏・鈴木 靖氏（北海道オールオリンピックスズ）

オリンピック事業として「水泳教室」を行いました。今回講師として、北京五輪400mメドレーリレー銅メダリストの佐藤久佳氏と、北海道オールオリンピックスズGMの鈴木靖氏をお招きして指導していただきました。また、水泳少年団指導者の方々にも協力していただきました。

体操終了後、佐藤氏にストレッチとして足首と肩甲骨の柔軟を指導してもらいました。佐藤氏は、足首を柔らかくすることで水をしっかりと押し出せるようになることや、肩甲骨の可動域が広がることで腕の動きもスムーズになり、効率よく泳ぐことができるようになると話していました。ストレッチ後は、水泳少年団指導者の指示のもとグループ分けを行い、佐藤氏・鈴木氏に巡回しながら指導を行ってもらいました。

25mプールでは、佐藤氏にメドレーリレーのデモンストレーションを行っていただきました。普段よりもゆっくりと泳いでいたのにも関わらず、とても速く泳ぐ姿に子どもたちも驚きの表情でした。また、25mプールの半分までドルフィンで泳いでおり、推進力の違いを見ることができました。

終了の10分前に水から上がり、保護者もプールサイドに招き入れ、質問タイムを行いました。佐藤氏に対して子どもたちからたくさんの質問をすることができました。また、保護者からは、もう一度佐藤氏の泳ぎが見たいとのリクエストをいただき、25mプールにて全力クロールを披露して頂きました。最後に講師の方から一言挨拶をいただき、事業を終了しました。



活動報告

「カヌー体験」 8月31日（日） チミケツ湖 9：00～15：00 参加者：19名 網走セーリング倶楽部：12名

今年度も網走セーリング倶楽部の皆さんに協力をしていただき、チミケツ湖にてカヌー体験を実施しました。カヌーに乗る前に安全講習会を行い、落ちてしまったときや、正しいパドルの扱い方、陸地にてボートに乗り込み、こぎ方や座り方を学びました。

安全講習会終了後は、用意されたカナディアンカヌー、シットオンカヤック、サップの中から各自希望する船種を選択し乗艇しましたが、今回はサップが人気でした。昼食では、グランドシートやキャンピスを広げ、ピクニックのように楽しみました。

午後も別の種類のカヌーに乗ったり、湖の岸辺で水遊びをしたりと自由に遊びました。最後にお世話になった網走セーリング倶楽部の皆さんにお礼をして終了しました。



「とうもろこし（ポップコーン）収穫」 9月30日（火） 達美の農場 14：00～15：30 参加者：14名 JAつべつ青年部・事務局：6名

6月に植えたとうもろこし（ポップコーン）の収穫作業を行いました。子どもたちの背丈よりも大きくなった茎に実っている、とうもろこしの皮を剥いてみるとカチカチに硬くなった実に驚きの表情。とても良い経験となりました。

とうもろこし収穫後は、硬いとうもろこしをさらに乾燥させるため、皮を剥いたものを紐で束ねて吊るす作業を行いました。子どもたちの中で皮を剥く人・束ねる人・運ぶ人に分かれ効率よく作業を進めることができました。



「さつまいも収穫」 10月11日（土）

達美の農場 9：00～11：45 参加者：13名

JAつべつ青年部・事務局：8名

6月に植えたさつまいもの収穫を行いました。この日は、外気温が8度と寒い中での作業となりましたが元気に行うことができました。

青年部の皆さんにスコップで地面を掘ってもらい、掘ったところを子どもたちで収穫する方法で作業を行いました。子どもたちも飽きることなく作業を行うことができ、休憩の時間でも休むことなく作業を進めました。収穫後は、さつまいもについた土を落とす作業を行いました。持ち帰りたい量のさつまいもを袋に入れ、最後に大きく育てていただいた青年部の皆さんにお礼をして終了しました。



「林業・焼き芋体験」 10月18日（土）

21世紀の森・恩根町有林 9：00～15：00 参加者：19名

津別町役場産業振興課職員：3名（林政係・再エネ推進係）

今年度も津別町役場産業振興課と合同で林業・焼き芋体験を行いました。

天気予報では雨だったものの、プログラムが始まるころには天気が回復し、雨にあたることなく活動ができました。

町有林へ行く前に、焼き芋の下ごしらえとしてさつまいもをアルミホイルに包む作業から行いました。包んだ後は、全員で焚火の中に包んださつまいもを入れ、さらに大量の落ち葉をかぶせ蒸し焼きにしました。さつまいもと火の管理を再エネ推進係の方々をお願いして、町有林に向かいました。

町有林に到着後、林政係職員より、どうして間伐が必要なのか、木の名前やのこぎりの使い方を教わりました。一人1本の木を丁寧に間伐を行い作業終了後は、集合写真を撮りました。21世紀に戻って来てからは、美味しそうに出来上がった焼き芋を試食しました。最後に、今回お世話になった講師の方々に挨拶をして解散しました。



活動報告

「通学合宿」 11月19日～21日（水～金）2泊3日

町民会館・中央公民館 参加者：8名

調理補助：3名（津別町役場保健福祉課職員、

社会教育人材バンク「まなぴ〜ぷる」、認定こども園 子どもの杜）

夜間レクリエーション：つべつ社交ダンス同好会（人材バンク「まなぴ〜ぷる」）

町内の4年生から6年生を対象に、親元を離れた生活体験の機会を提供し、家庭の大切さを改めて感じるとともに、自立心の育成や地域との関わりを深めることを目的として通学合宿を実施しました。

【11月19日（水） 1日目】

初めのオリエンテーションでは、自己紹介、3日間の流れ、テーマの確認、役割分担、部屋分けを行いました。オリエンテーション終了後は、献立を決めてみんなでグリーンマートに買い物に行きました。当初、みんなで決めた予算は、6,000円前後でしたが9,966円と大幅にオーバーしてしまい、翌日の買い物で調整することにしました。

町民会館に戻ってきてからは、調理補助で来てくださった先生方の指導の下、小松菜スープとハンバーグ、フライドポテト、キュウリとキャベツのサラダを作ることができました。夕食後は全員で後片付けを行い、レクリエーションでは、宝探し謎解きゲームを行いました。チーム戦で行いどちらが早くお宝にたどり着けるかを勝負したため、白熱した勝負となり号泣してしまう子がいたりとハプニングもありましたが楽しむことができました。

【11月20日（木） 2日目】

朝ごはんは、昨日オリエンテーションの際に決めた、目玉焼きとトースト、スクランブルエッグを作りました。時間が限られているなかで自分たちが何を率先して取り組めるかを考え効率よく調理を進めることができました。調理後は、全員でいただきますを行い、朝ごはんを食べました。朝食後は、全員で協力して食器洗いやテーブルを拭くなど後片付けを行い、登校準備をしました。全員の登校準備が終わり、7：55に町民会館を出発しました。

2日目の買い物では、前日の反省を生かし電卓で計算をしながら買い物をすることができました。2日日夜ごはんは、ピーマンの肉詰め、もやしのナムル、キャベツの味噌汁を作りました。レクリエーションは、中央公民館にて行うため、急いで調理を進めました。レクリエーションは、社交ダンス同好会に社交ダンスの基礎的な動きを学びました。はじめは、緊張していたため子どもたちの動きや表情も硬かったですが、次第に笑顔も増え楽しく社交ダンスを踊ることができました。

【11月21日（金） 3日目】

3日目の朝ごはんは、ホットケーキ作りをしました。トッピングでバナナを乗せ、メープルシロップやチョコソースをかけて食べました。朝食後は、昨日同様に登校準備をして最後に玄関前で集合写真を撮りました。子どもたちを見送ろうとしましたが、小学校の玄関前まで同行し、見送りしました。



「料理教室」 11月29日（土）

町民会館 9：00～12：30 参加者：8名

JAつべつ青年部・女性部・フレミズ・事務局：14名

今年作付けしたさつまいも、とうもろこし（ポップコーン）を使って「スイートポテト、さつまいもご飯、ポップコーン」を作る、料理教室を実施しました。

初めにさつまいもご飯づくりからスタートしました。低学年も多く、包丁の扱いに慣れない子が多かったため、大人たちも安全面に配慮しながら補助を行いました。さいの目上に切ったさつまいもをお米と一緒に炊飯器に入れ、さつまいもご飯の準備が完了しました。次にスイートポテトづくりを行いました。事前に蒸かしてつぶしておいたさつまいもをグループごとに分けて、用意したスイートポテト用の型の中へ入れる作業を行いました。スイートポテトとさつまいもご飯を調理している間、ポップコーンマシンでポップコーンをみんなで作りました。子どもたちもはじけ出てくるポップコーンにくぎ付けの様子でした。

すべての料理が完成したところで全員でお昼ご飯を食べました。青年部や女性部、フレミズの方々と会話を弾ませ、楽しくご飯を食べることができました。食事終了後は、全員で後片付けを行いました。その後、青年部で用意してくださった振り返りのビデオを視聴し1年間の活動を振り返りました。最後に記念撮影を行い、お世話になったJAつべつの皆さんにお礼をして終了しました。



「第2回体力測定会」 11月29日（土）

農業者トレーニングセンター 13：15～15：00

参加者：36名 スポーツ推進委員・少年団保護者：10名

春に引き続き、第2回体力測定会を実施しました。少年団本部長の小林教行氏にあいさつをいただき、準備体操をしてから計測を行いました。参加した子どもたちは、落ち着いた様子で各種目の説明を聞き、順序良く測定に取り組むことができました。春の時よりも成績が伸びている子が多く、喜びや達成感を感じている姿が見られました。シャトルランも、全学年一斉に行いましたがどの子もあきらめないで最後まで全力で走りぬくことができました。全体を通して、児童の体力向上や意欲の高まりが感じられる機会となりました。前回同様、結果を送付する旨を伝えて終了しました。

活動報告

「もちつき体験」 12月29日（月） 中央公民館 9：30～12：30 参加者：19名 高校生ボランティアサークルひまわり：5名

毎年恒例のもちつき体験を今年も行いました。ALTのジョセフ先生にも来ていただき、日本の文化を体験しました。

最初のオリエンテーション終了後、もち米が炊き上がるまでの間、子どもたちに杵を持ってもらい、重さや質感を体感してもらいました。準備ができたところで臼の前に整列して一人5回ずつ交代をしながら餅をつきました。ついた餅を全員で手分けをして丸め、お持ち帰り用、雑煮用、味をつけて食べる用に分けました。合計で4回同じ工程を繰り返し、たくさん動いておなかもすいたところで食事の準備をしました。

子どもたちは、おなかがとてもすいていたのか、用意した雑煮を何度もおかわりして、完食してしまいました。最後にみんなで後片付けを行い、写真撮影をして終了しました。



「少年・少女スケート教室」 1月13日・14日（水・木） スケートリンク（津別小学校） 10：00～11：30 参加者：延べ33名 スポーツ推進委員：3名

今年もアソビバ会員及び児童館利用者を対象にスケート教室を実施しました。当初予定していた日程にスケートリンクの造設が間に合わず、延期しての開催となりました。

2日間の初めは、ウォーミングアップとしてスケート靴をはかずに氷の上を走りました。体が温まったところでスケート靴を履き、グループごとに練習を始めました。2日間を通して、椅子につかまらないうと滑れなかった子も、1人で滑ることができるようになるなど2日間とは思えない成長を感じることができました。



オリンピック事業「スノーボード教室」 2月21日（土） ファミリースキー場 9：00～12：00 参加者：11名 講師：松本 遥奈氏・鈴木 靖氏（北海道オールオリンピックスズ）

今年度2回目のオリンピック事業として「スノーボード教室」を行いました。今回講師として、平昌オリンピック女子ハーフパイプで6位に入賞された松本遥奈氏と、北海道オールオリンピックスズGMの鈴木 靖氏をお招きして指導していただきました。

今回の講習では、初心者グループ・滑ることができる小学生・大人グループの3グループに分かれ指導していただきました。初心者グループでは、片足にビンディングを装着し、スケーティングから行いました。スノーボードの扱いに慣れ始めたところでロープトウに乗り、斜面にて木の葉滑りの練習とターン練習を行いました。初心者グループの子どもは、最後まで集中して取り組むことができました。

当初は3グループに分かれて練習を行っていましたが、初心者のグループも全員上手に滑ることができるようになったため、途中からグループ分けを見直し、全体で一つとなって練習を行いました。きれいなターンの仕方や、ターンの際の体重移動、スノーボードの扱い方など基礎的な技術を学ぶことができました。

当初予定していた講演会が中止となってしまいましたが、レクチャー中も松本氏の経歴や自身がスノーボードを始めたきっかけ、また、冬季オリンピックのミラノ・コルティナオリンピックに出場している怪我を抱えた状態で出場したハーフパイプ選手の心境など技術面や競技経験に関する質問が多数寄せられました。最後に松本氏・鈴木氏より一言あいさつをいただき集合写真を撮って終了しました。



活動報告

「はじめてのおとまりかい」 2月22日～23日（日・月） 北海道でてこいランド 参加者：14名 高校生ボランティアサークルひまわり：6名

小学校1年生～3年生を対象に北海道でてこいランドにてはじめてのおとまりかいを実施しました。

【2月22日（日） 1日目】

緊張した様子で集合した子どもたちでしたが、アイスブレイクの「新聞島サバイバル」を行った後は、高校生との心の距離が近くなったように感じられました。外遊びでは夜ご飯の「お鍋」の具材を賭けて雪上かるたを行いました。また、余った時間で北海道でてこいランド横の坂でそり滑りも行いました。高校生にへとへとなるまで子どもたちの遊び相手をしていただきました。

宿に戻ってからは、コーンホールというパックを投げて穴の中に入れるというレクリエーションを行いました。単純なゲームながらも年齢や性別、体格など関係なく楽しむことができました。

お鍋の具材を切る作業では、はさみやピーラーなどを上手に使い食材をカットしました。お鍋の野菜やお肉にしっかりと火が通ったところで全員でいただきますをして食事を始めました。お鍋の中に嫌いな食べ物があるといっていた子どももおいしく食べることができました。

食事後は、自由時間としてお風呂に入る子や、友達と一緒に遊ぶ子など自由気ままに過ごしました。1日目の振り返り際にはアイスクリームをみんなで食べながら、感想や楽しかったことを高校生にまとめてもらいながら全員で共有することができました。

【2月23日（月） 2日目】

朝6時に全員起床しました。1日目の疲れがたまっているためか少し寝足りない様子でした。高校生の力を借りながら身支度を済ませ、朝食づくりに取り掛かりました。

2日目の朝食はフレンチトーストを作りました。簡単かつ時間もかからない料理で、子どもたちも自由にトッピングをしながら自分なりのフレンチトーストを作ることができました。

朝食後は、自分たちの荷物を整理整頓し、余った時間は自由時間として過ごしました。朝9時より、ひまわりのメンバーが企画したピザづくりを行いました。子どもたちの中には、ピザづくりをしたことがない子どもが多く「ピザづくり楽しい!」と、嬉しそうにピザづくりを行いました。焼きあがったピザを全員で食べました。中でも、甘いピザは「クレープの味がする」との感想がありました。

ピザづくり終了後、2日間の振り返りを行いました。昨日同様、高校生に感想をとりまとめてもらい全体に共有することができました。その後、迎えに来た保護者とともに2日間の活動の様子をまとめた動画を全員で視聴し、解散しました。



「まなびば in はるやすみ」 3月25日～27日（水～金）
中央公民館・農業者トレーニングセンター 9：30～11：30
参加者：延べ82名
ひまわりOB：山口 洸樹氏（社会教育人材バンク「まなび～ぷる」）
高校生ボランティアサークルひまわり：6名

小学校の春休み期間を活用して、まなびばを行いました。今回も運営協力としてひまわりのメンバー6名と、ひまわりOBで、人材バンクまなびい～ぷるに登録している山口 洸樹氏に協力いただきました。

初めの1時間は、学習時間として春休みに用意された宿題や問題集を持参して取り組みました。苦手な教科に苦戦しつつも、周りの友達のを力を借りて問題を解くことができました。

学習後のレクリエーションは、1日目は、野球と鬼ごっこ、ドッチビーを行いました。それぞれやりたい種目を行い、楽しく体を動かすことができました。2日目は、モルック大会総当たり戦を行いました。途中、悔しくて泣いてしまう子どもが出てしまいましたが、白熱したバトルで盛り上がることができました。3日目は、自由時間として各々のやりたいことをする時間にしました。野球やドッチボール、バレーといった様々な運動を通してしっかりと体を動かすことができました。

3日間を通じて、意欲的に学習に取り組みながら、レクリエーションでは高校生や大人と一緒に楽しむ姿が見られ、異世代交流をすることができた活動となりました。

